

熊本城天守閣復旧整備事業について

1. 工事状況

- 【大天守】6階 鉄骨建方完了、屋根・壁設置工事
4～5階 屋根・躯体補修完了、瓦葺中 1～3階 屋根・躯体補修中
- 【小天守】1階下屋屋根、壁、床撤去 【石垣】大天守築石撤去・栗石回収・積込・運搬

2. 天守閣内部に関する取組状況と今後の予定

- ・ 平成29年4月17日 第1回天守復興部会
＜審議事項＞
耐震化、バリアフリー化・ユニバーサルデザイン、展示について（展示ストーリーについて）
- ・ 平成29年6月9日 第2回天守復興部会
＜審議事項＞
展示について（周辺施設との連携・補完について、展示（たたき台））
- ・ 平成29年7月24日 展示・内装基本設計業務委託契約締結（平成30年2月28日まで）
- ・ 平成29年8月4・5・6日 市民オープンハウス＋ワークショップ開催
- ・ 平成29年8月18日 第3回天守復興部会
＜審議事項＞
展示について（周辺施設との連携・補完、展示コンセプト、展示配置プラン等）
- ・ 平成29年8月27日 市民シンポジウム開催（基調講演＋パネルディスカッション）
- ・ 平成29年10月23日 第4回天守復興部会（中間報告）
- ・ 平成29年12月頃予定 第5回天守復興部会（最終報告）

3. 第3回天守復興部会での委員意見と対応策について（案）

【1階：加藤時代】

- 1) 加藤清正以前の熊本城（中世からの歴史）についても展示で取り上げるべき（西嶋委員）
⇒資料2-2にて説明。

【3階：近現代】

- 2) 「熊本城と近代化」明治～昭和の軍政時代の功罪について小中学生にもわかるような展示工夫を（西村委員）
⇒資料2-4にて説明。
- 3) 昭和28年の熊本大水害で発生泥土を熊本城の堀に埋めた。城が災害時に果たした役割紹介を（西村委員）
⇒資料2-4にて説明。
また城域に設置のA3版解説パネルにおいても、水害時発生泥土で堀を埋めた件の説明分を作成中。

【鯨瓦関連】

- 4) 天守の鯨瓦を展示するとか、記念写真を撮るスペースは検討されているのか（毛利委員）
⇒資料2-4にて説明。

【AR／VRほか映像関連】

- 5) NHKが被災した熊本城VR映像を製作した。それが放映できるような施設を（平井委員長）
⇒資料2-4にて説明。

【城下町模型関連】

- 6) 天守内に城下町模型が展示されていたが、新たに同じ範囲で製作するのか（今村委員）
7) 模型を作るときには、緑景があると熊本城がさらに引き立つと思う（毛利委員）
8) 模型製作は根拠のあるもの（西南戦争被害届の平面図）で使っていただきたい（平井委員長・伊東部会長）
⇒参考4にて説明。
既に論考コピーのご提供をいただいた。現在、引き続き伊東部会長にご指導いただいているところ。

【6階：古写真】

- 9) 古写真の展望の展示にVRが使えないか（平井委員長）
⇒参考6-1・6-2（AR／VR）にて説明。

【その他：展示順】

- 10) 時系列ではなく、現代から過去へ遡って行く順番で展示する方法もある。（平井委員）
⇒上層階は次第に面積が狭くなっていくため、展示後半に加藤時代をもっていくことは難しいと判断し、やはり時系列での展示順路とした。
熊本城天守閣の場合は、各フロアで展示する時代が分かれている。以前は階段を降りてくる際に手すり
が連続しており、降りる途中で他の階へ移動することが出来ない状態であったが、今回の計画案では手す
りが連続しておらず各階へ移動できる。したがって見学者の好みによって見学ルートを設定でき、例えば
各階ごとに見たい階だけを自分で選ぶこともでき、あるいは最初に展望台まで登ってから、時代を逆に（現
代から過去へ）遡って見学しながら降りてくるという見学順も可能である。あとは、来城者に対してフロ
ア案内などでわかりやすく各階展示の時代・テーマを周知し、それぞれが楽しめるような工夫に努めたい。

【その他：連絡事項での指摘】

- ①全庁協議を行って、マスタープランの検討・作成を。洋学校・医学校・ジェーンズ・時習館などの展示を
（西嶋委員）

※マスタープランがないと「天守展示で全てがわかるような内容に」との要望がいつまでも続く、とのご意見
⇒庁内連絡会議を観光政策課・文化振興課と開催している。
関係各課、皆でしっかりと考えていかないといけないことは十分認識している。

- ②城彩苑の時限20年（平井委員長）

⇒城彩苑自体はPFI事業で20年間の契約。20年後に廃止するか存続するか明確な結論に達しているわけ
はない。文化庁とも20年後の具体的な話まではしておらず、現時点では明確にいつまでとは言いきれない。

- ③合同庁舎跡地は駐車スペースとしての利活用ができないか、利活用については十分な検討を（谷崎委員）
⇒機会をとらえて、頂いたご意見を念頭に踏まえて考えていきたい。